

日本マイコトキシン学会

第82回学術講演会

期 日 平成30年8月24日(金) 10時00分～18時10分

会 場 とかちプラザ
レインボーホール 他
北海道帯広市西4条南13丁目1番地

主 催 日本マイコトキシン学会

世話人 帯広畜産大学 豊留 孝仁

問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学

TEL:0155-49-5888

お知らせ

【会場使用上の注意】

講演会場のレインボーホール内は飲食禁止となっています。レインボーホールホワイエは飲料のみ可となっております。ランチョンセミナー会場の大集会室は飲食可です。ご協力をお願い申し上げます。また、ごみの分別収集にご協力下さい。

館内は禁煙です。喫煙される方はとかちプラザ正面入口横の館外喫煙所をご利用ください。

Wi-Fiは回廊部分で使用可能です。SSIDはPLAZA-FREE、パスワードは館内やホワイエに掲示しています。詳しくは館内アトリウム等の掲示をご覧ください。

【一般講演】

会場:レインボーホール

口頭発表は発表12分、質疑応答3分です。10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らします。パソコンのスライド送り操作は演者ご自身で行っていただきます。

【ポスターセッション】

会場:レインボーホールホワイエ

ポスター発表のコアタイムは14:00～15:00の1時間です。掲示に必要なピン(画鋏)は用意しております。テープ類は使用しないでください。ポスター発表時間終了後、17:00までにポスターの撤去をお願いします。

【企業展示】

会場:レインボーホールホワイエ

時間:10:30～17:00

【ランチョンセミナー】

会場:1階大集会室

時間:12:00～13:30

事前にランチョンセミナー申込をいただいた参加者はお弁当を用意しております。

※周辺で昼食をとられる場合は帯広駅北側を中心に飲食店街がございます。

【幹事会】

会場:3階研修室 306

時間:12:00～13:30

【懇親会】

会場:1階 ピクニック

時間:18:20~20:20

会場案内

【とかちプラザ】

JR 帯広駅南口を出て徒歩3分です。



駅側からの外観は以下の通りです。

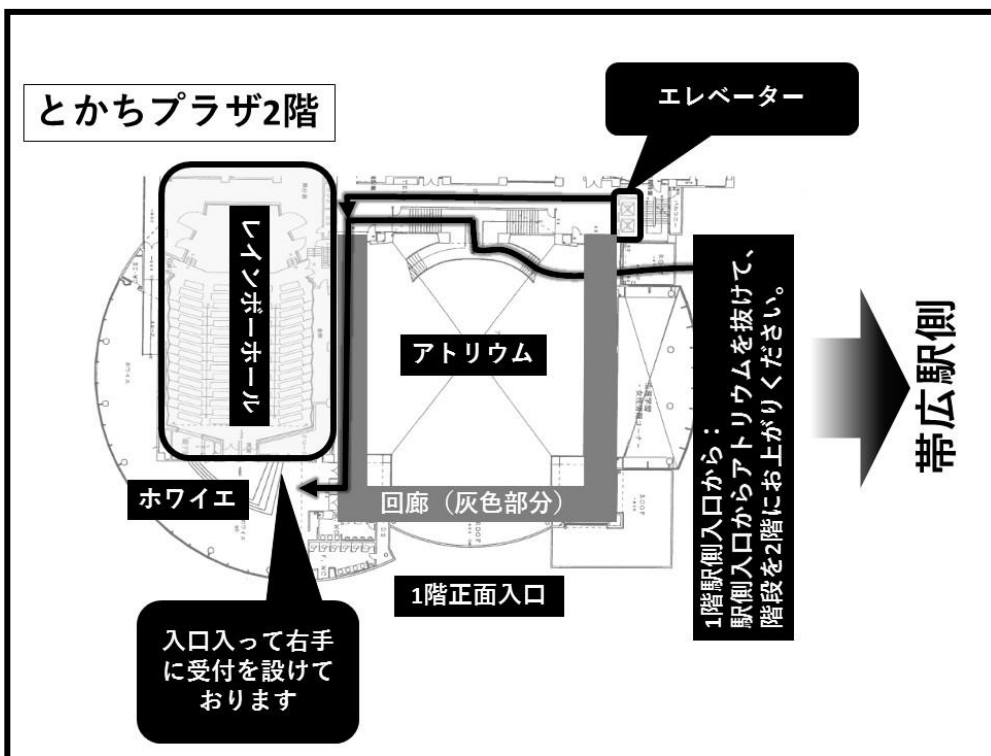


駅側からの入口があります。
(自動販売機横が入口です)

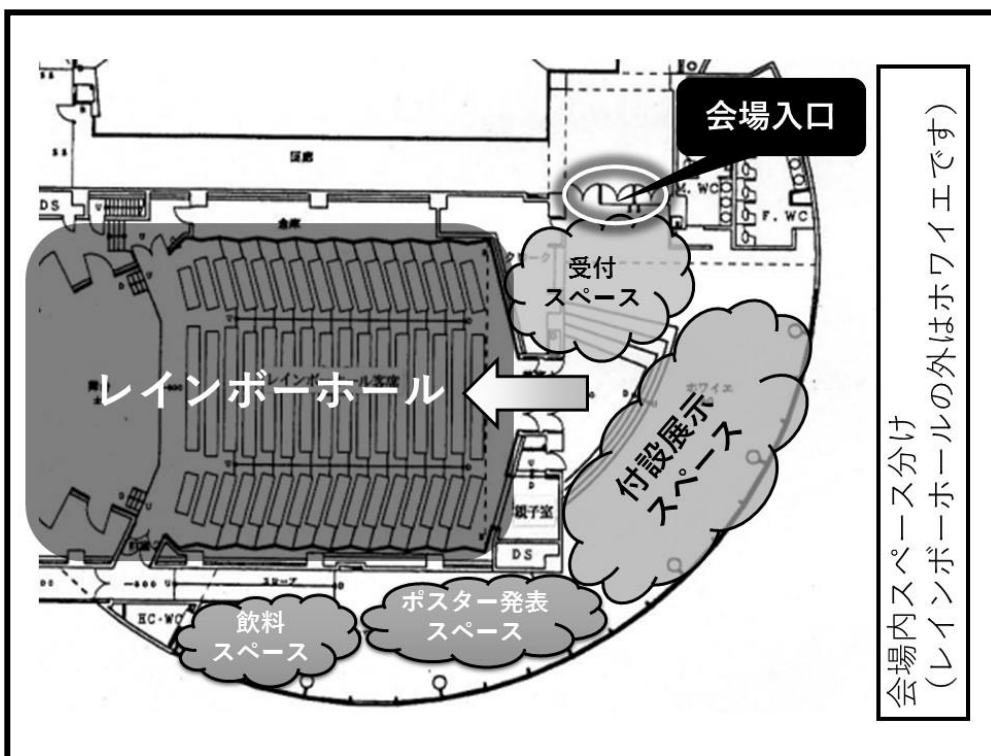


【各会場】

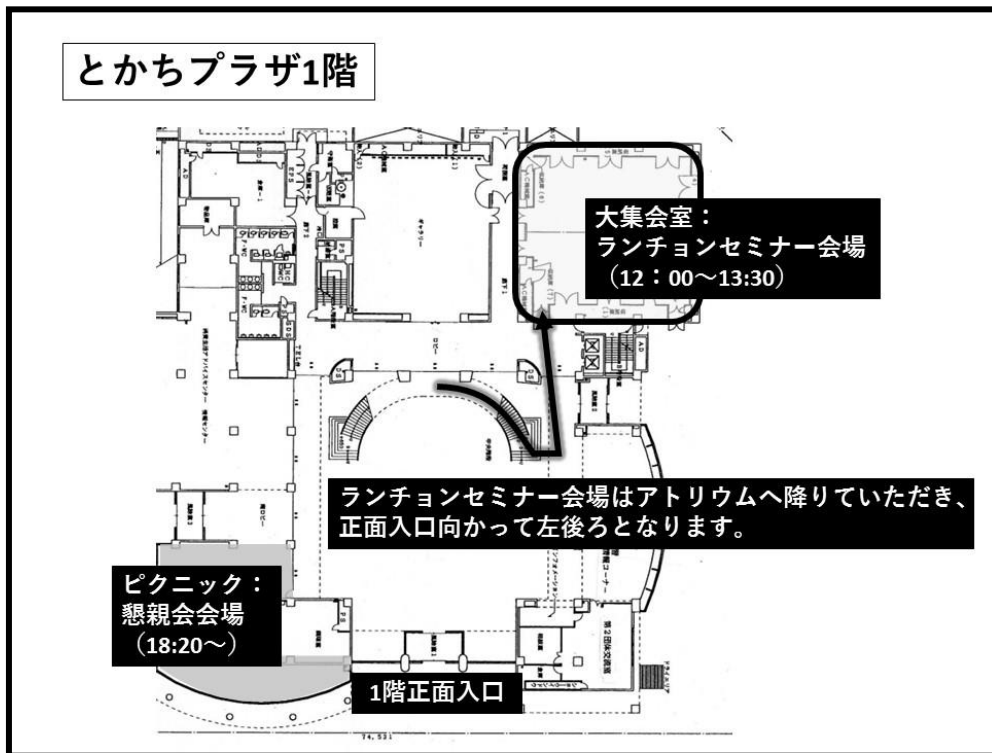
とまちプラザ 1 階駅側入口からレインボーホールへ：



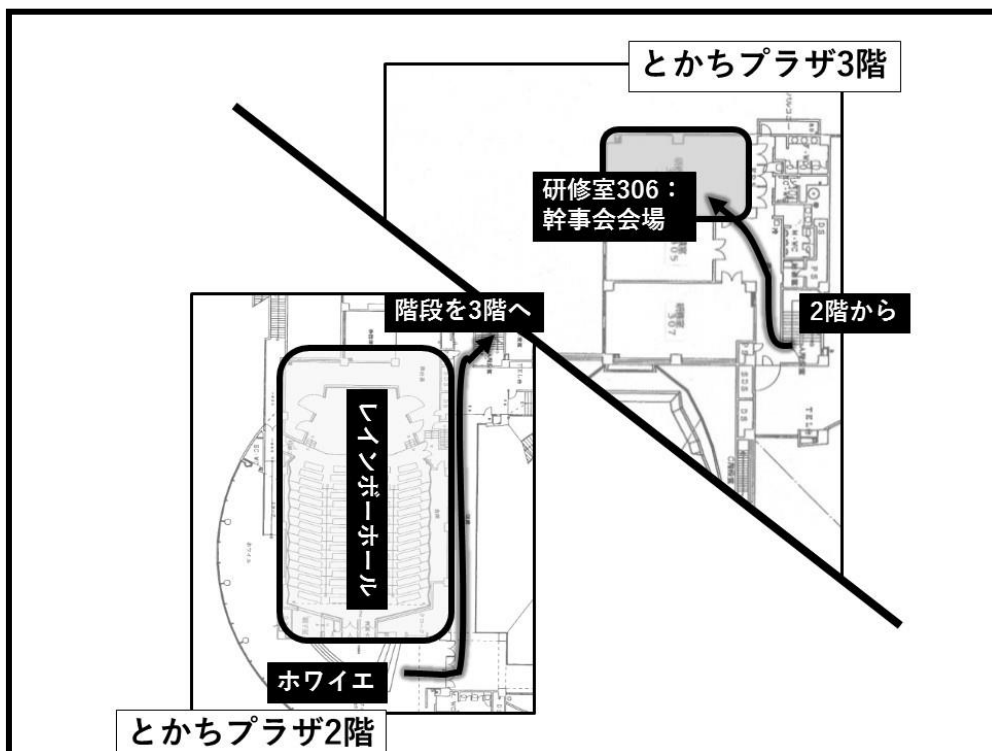
レインボーホールおよびホワイエの案内図：



ランチョンセミナー会場、懇親会会場へ:



幹事会会場へ:



日本マイコトキシン学会第 82 回学術講演会 タイムテーブル

9:30—	受付
10:00—10:05	開会挨拶
10:05—10:50	一般講演 (O-1~O-3)
10:50—11:05	休憩
11:05—11:50	一般講演 (O-4~O-6)
12:00—13:30	ランチオンセミナー、幹事会
13:45—14:00	臨時総会
14:00—15:00	ポスターセッション (P-1~P-14)
15:00—15:15	休憩
15:15—16:45	シンポジウム (S-1~S-3)
16:45—17:00	休憩
17:00—18:00	特別講演
18:00—18:05	次回学術講演会世話人挨拶
18:05—18:10	閉会挨拶
18:20—20:20	懇親会

日本マイコトキシン学会第82回学術講演会プログラム

日 時：2018年8月24日（金） 10:00～18:10（受付 9:30～）

場 所：とちがちプラザ（〒080-0014 帯広市西4条南13丁目1番地）
ランチョンセミナーを除き、講演は2階レインボーホール内で行います。
ランチョンセミナーは1階大集会室にて行います。

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

帯広畜産大学 動物・食品検査診断センター センター長 石井 利明

10:05-10:50 一般講演（O-1～O-3）

座長： 須賀 晴久（岐阜大学）
清水 公德（東京理科大学）

O-1 *Fusarium fujikuroi* のフモニシン非産生系統（G系統）のFUM6遺伝子に見られる挿入配列について

○須賀 晴久¹、Sultana Sharmin²、勝 友美¹、清水 将文³、景山 幸二⁴

¹岐大・科基セ、²岐大院・連農、³岐大・応生、⁴岐大・流域研セ

O-2 *Aspergillus niger laeA* 遺伝子導入による *A. oryzae* の機能解析

○佐野 元昭、石川 蒼人、久保 雅誉、成清 敬太
金沢工大

O-3 トリコテセン産生制御におけるグリシン開裂系の関与

○中嶋 佑一¹、塩原 拓也¹、前田 一行²、金丸 京子¹、小林 哲夫¹、西内 巧³、
木村 真¹

¹名大院・生命農、²明大・農、³金沢大・学際科学

10:50-11:05 休憩

11:05-11:50 一般講演（O-4～O-6）

座長： 渡辺 麻衣子（国立医薬品食品衛生研究所）
鈴木 忠宏（農研機構食品研究部門）

O-4 ホスファターゼ活性阻害とアフラトキシン生産の関係
井之口 曜¹、○古川 智宏²、吉成 知也³、作田庄平²

¹東大院・農生科、²帝京大・理工、³国立衛研

O-5 フザリウム属菌のフモニシン生産に対するポリオキシシン類の影響

○吉成 知也、渡辺 麻衣子、大西 貴弘、工藤 由起子
国立衛研

O-6 アフラトキシン生産菌検出法「ジクロロボスーアンモニア (DV-AM) 法」の培地条件の改良

○矢部 希見子¹、尾寄 春菜¹、丸山 拓也¹、林 敬祐¹、松任 佑機¹、石坂 麻理香¹、
牧田 健¹、野間 竣陽¹、藤原 幸祐¹、久城 真代²
¹福井工大・環境・食品科学科、²農研機構・食品研

12:00-13:30 ランチョンセミナー (同時刻に幹事会開催 幹事会会場：3階研修室 306)

ランチョンセミナー会場：1階大集会室

L-1 BIOMIN Japan 株式会社

L-2 関東化学株式会社 / Romer Labs

L-3 Randox Food Diagnostics

L-4 株式会社プラクティカル

13:45-14:00 臨時総会

14:00-15:00 ポスターセッション (P-1 ~ P-14)

ポスター会場：レインボーホールホワイエ

ホワイエにて付設展示同時開催

P-1 アフラトキシン溶液の光による分解と遮光効果について

○松浦 倫子、村上 加奈子、森下 直樹、長谷川 隆則
日本ハム (株)

P-2 *Penicillium citreonigrum* における citreoviridin 生合成遺伝子の検討

○岡野 巧¹、小林 直樹¹、白鳥 望美¹、杉浦 義紹¹、Phitsanu Tulayakul²、小西 良子¹
¹麻布大・生命環境、²Kasetsart University

P-3 糸状菌が産生する多様な環状ペプチド

○梅村 舞子
産総研・生物P

P-4 新規トリコテセン創成に向けた *Fusarium* 属菌および基質の条件検討

○足立 健太郎¹、中嶋 佑一²、貞松 和樹¹、鈴木 将¹、木村 真²、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²名大院・生命農

- P-5 Nivalenol 系トリコテセンの効率的なアセチル化系の構築
○鈴木 将¹、貞松 和樹¹、岡田 彩希¹、前田 一行²、中嶋 佑一²、
木村 真²、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²名大院・生命農
- P-6 *Trichothecium roseum* を用いた新規 t-type トリコテセンの創製
○新海 航輝¹、岡田 彩希¹、木村 真²、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²名大院・生命農
- P-7 T-2 toxin 類縁体の MS/MS ライブラリーの創製と穀物汚染の調査
○貞松 和樹¹、鈴木 将¹、中村滋彦²、足立 健太郎¹、木村 真³、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²東洋大・理工、³名大院・生命農
- P-8 希少 d-type トリコテセンの精製と d-type トリコテセンの生理活性の検証
○岡田 彩希¹、新海 航輝¹、田中 千智¹、木村 真²、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²名大院・生命農
- P-9 光照射強度と波長の変化がマイコトキシン産生に及ぼす影響
○鈴木 忠宏
農研機構・食品研
- P-10 日本臨床分離 *Aspergillus flavus* 株と *A. flavus* NRRL3357 株および *A. oryzae* RIB40 株との
ゲノムワイド SNP 比較解析
○豊留 孝仁^{1,2,3}、高橋 弘喜³、亀井 克彦³
¹帯畜大・獣医、²帯畜大・検査セ、³千葉大・真菌セ
- P-11 培養時に多様なアセチル化型トリコテセンを生産する NBRC 9955 株の遺伝的背景の
解析
○前田 一行¹、田中 佑弥²、中嶋 佑一²、新海 航輝³、松井 宏介³、足立 健太郎³、
安藤 直子³、木村 真²、大里 修一¹
¹明大・農、²名大院・生命農、³東洋大院・理工
- P-12 固相抽出自動化装置によるアフラトキシン分析の検討
○西村 泰樹¹、井口 えい子¹、高柳 学¹、北出 崇²、宮林 武司¹
¹ジーエルサイエンス (株)、²エムエス機器 (株)
- P-13 十勝の台風被害による飼料用トウモロコシサイレージのかび毒汚染の実態
○久保田 彰^{1,2}、Jae Seung Lee¹、川島 千帆³
¹帯畜大・獣医、²帯畜大・検査セ、³帯畜大・畜産

P-14 *Fusarium* 属菌におけるフモニシン類産生性に関する分類学的検討

○小池 義浩¹、吉成 知也²、中川 博之³、上垣 隆一⁴、高橋 治男²、清水 公德¹、
工藤 由起子²、渡辺 麻衣子²

¹東京理科大、²国立衛研、³農研機構・食品研、⁴農研機構・動衛研

15:00-15:15 休憩

15:15-16:45 シンポジウム

「日本の食糧基地 北海道でマイコトキシンを考える」

座長：豊留 孝仁（帯広畜産大学）

S-1 北海道のコムギ赤かび病とマイコトキシン対策について

相馬 潤（道総研・中央農試）

S-2 北海道における飼料用とうもろこしのデオキシニバレノール汚染実態とその対策

湊 啓子（道総研・畜試）

S-3 北海道の酪農・畜産におけるマイコトキシン汚染の影響懸念とその対策

川本 哲（酪農大）

総合討論

司会：相馬 潤（道総研・中央農試）

16:45-17:00 休憩

17:00-18:00 特別講演

座長：作田 庄平（帝京大学）

"Toxic Molds"から学んだ50年

高鳥 浩介（NPO 法人 カビ相談センター）

18:00-18:05 次回学術講演会世話人挨拶

第83回学術講演会世話人 大西 貴弘（国立医薬品食品衛生研究所）

18:05-18:10 閉会挨拶

第82回学術講演会世話人 豊留 孝仁（帯広畜産大学）

18:20-20:20 懇親会

会場：とがちプラザ1階 ピクニック